

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名: 愛知県建設部

事業の名称: 名古屋都市計画道路

3・4・344号西春駅西線整備事業

実施都市名: 愛知県 北名古屋市

事業目的

現道の一般県道西春停車場線は、片側1車線の2車線道路で歩道もなく、特に朝夕は駅を利用する歩行者、自転車、乗用車が錯綜する危険な状態であった。さらに、本路線沿道は古くから駅前沿道商店街を形成する中心市街地であるが、近年商業も衰退傾向にあり、建物等の老朽化も進んでいた。

このため、駅周辺の交通環境改善、交通結節点機能強化、都市の再生・再構築、中心市街地活性化を目的として、沿道区画整理型街路事業により本路線を整備したものである。

事業概要

事業名称:名古屋都市計画道路事業

3・4・344号西春駅西線整備事業

路線名:名古屋都市計画道路3・4・344号西春駅西線

事業箇所:愛知県北名古屋市九之坪中町

事業延長:257m

幅員:18~21m(2車線)

事業費:1,662百万円

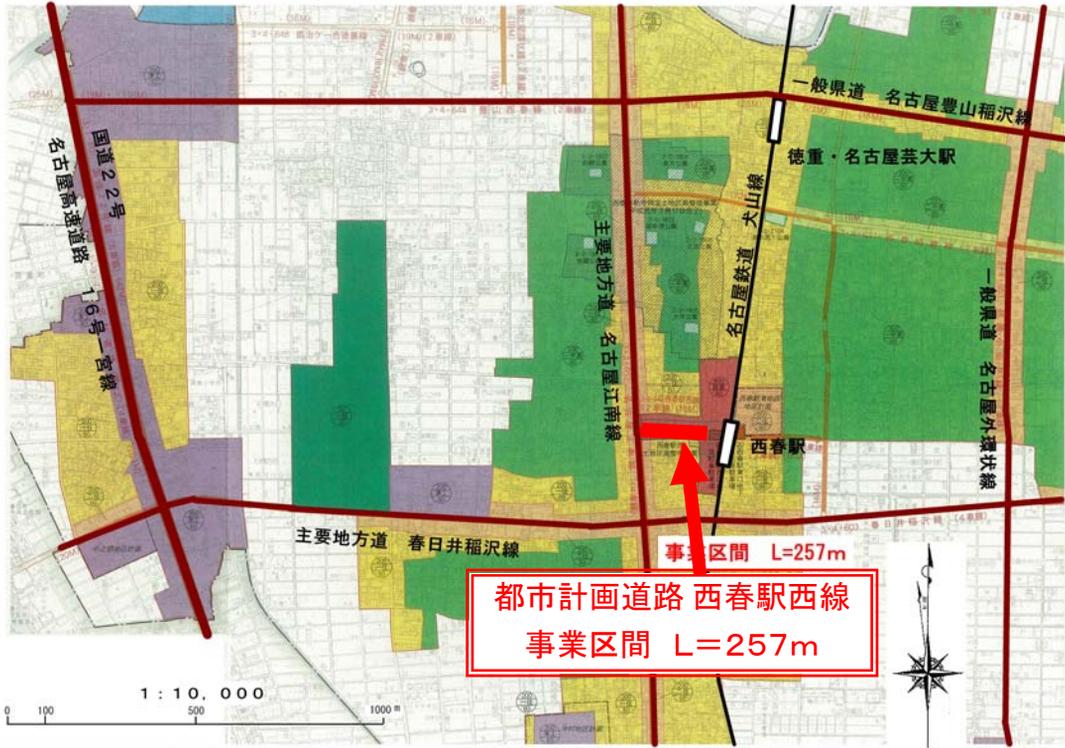
事業実施期間:平成13年度~平成21年度

本事業は、名古屋鉄道犬山線の西春駅と主要地方道名古屋江南線を結ぶ区間を整備したものである。

市施行の土地区画整理事業との連携や地元商店街等との調整により、歩いて暮らせるまちづくりを目指して、無電柱化を行うとともに、本路線周辺に市公会堂、都市公園、立体駐輪場などの公共公益施設を配置した。

さらに、本路線の歩道にモニュメントを10基設置し、アートを活かした新たな魅力を持った街路として、近隣住民だけでなく、遠方からの利用者も増える等、地元商店街の活性化にも寄与している。

事業位置図

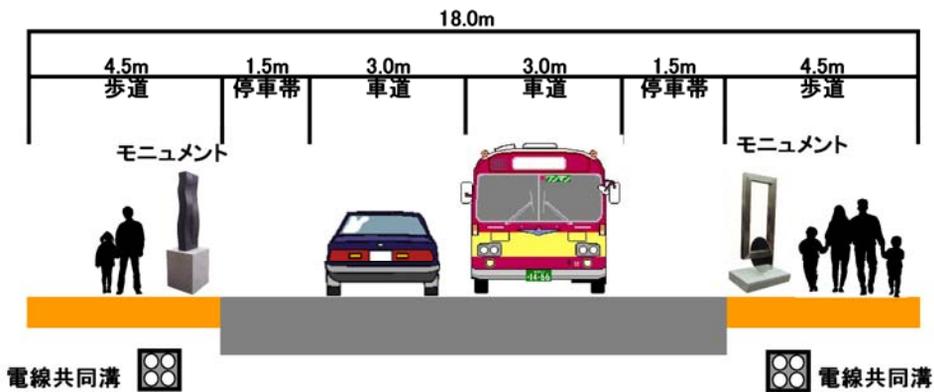


全体図(平面図・側面図・横断図)

平面図



横断図



(都)西春駅西線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名：名古屋都市計画道路 3・4・344号西春駅西線整備事業
路線名：名古屋都市計画道路 3・4・344号西春駅西線
事業箇所：北名古屋市九之坪中町
事業延長：257m、幅員：18~21m(2車線)
総事業費：1,662百万円、事業期間：平成13年度~平成21年度



※赤枠は土地区画整理事業区域

事業効果

■ 交通結節点機能強化

西春駅へアクセスする路線バスの停留所は、駅の東口しかありませんでしたが、本路線の整備に合わせて、西口にも停留所が設置され、駅西側からのアクセスが大幅に強化されました。

■ 交通環境改善

現道は幅員7m程度の歩車分離がされていない危険な状況でしたが、本路線の整備により、歩車分離が図られ、安全な交通が確保されました。

■ 再生・再構築が図られた中心市街地

老朽化した建物が密集した中心市街地でしたが、本路線の整備に合わせて北名古屋市が土地区画整理事業を実施し、土地の高度利用や建物の不燃化が進むなど、まちの再生・再構築が図られました。

■ 都市防災性の向上

本路線は、震災時等に避難路になるとともに、延焼遮断帯の機能を担うなど、本路線の整備により都市防災性の向上が図られました。

■ まちの魅力向上

本路線を含む地区は、北名古屋市の中心市街地であるとともに玄関口であることから、無電柱化を図るとともに、北名古屋市が魅力ある景観形成を目的として10基のモニュメントを歩道上に設置し、まちの魅力向上に大きく貢献しました。

定量的効果

- 西春駅西口を発着する北名古屋市コミュニティバス路線が新設され、従来より**駅へのアクセス時間が10分短縮**(25分→15分)されるとともに、**市コミュニティバスの利用者が200人/日増加**(350人/日→550人/日)した。
- 本路線の**往来者数が600人/日増加**(2,200人/日→2,800人/日)した。



事業前写真

平成12年11月撮影

(都)名古屋江南線と西春駅を結ぶ現道の一般県道西春停車場線



※赤枠は土地区画整理事業区域



(都)名古屋江南線との交差点より
現道を望む

- ・歩車分離がされていない現道
- ・老朽化が進む沿道商店街



商店街の街灯
(YOU 遊 ^{ゆう}ロード 西春)

事業後写真

平成22年4月撮影

(都)名古屋江南線と西春駅を結ぶ(都)西春駅西線



※赤枠は土地区画整理事業区域

(都)名古屋江南線との交差点より (都)西春駅西線を望む



朝の通勤・通学状況



再生・再構築が図られた中心市街地



北名古屋市が設置したモニュメント



商店街の街灯 (YOU 遊 ロード 西春)

